



ゆん じゅん
尹 在 勲

生年月 1986年6月韓国ソウル生まれ
最終学歴 2015年東京大学大学院
新領域創成科学研究科
建築空間環境学専攻修了
業務経歴 2015年大林組入社
現在、大阪建築設計部
●担当した主なプロジェクト
2016年 綱島SSTエネルギーセンター
2016年 那珂瓦斯発電所
2017年 大阪第6 地方合同庁舎
西宮市第二庁舎
2018年 イワタニ水素ステーション
2019年 PEVE宮城工場 第6工場
2020年 PEVE宮城工場 第7工場

■青年技術者のことば

10年前、学生の頃はじめて建築作業に携わった経験があります。2011年起きた東日本大震災の被災者の皆さんの為に簡易集会所を建てる学生主導のプロジェクトでした。当時、学生でありながら人々のために実際の建物を建てるという喜びとともに、地域と住民の幸せに対する建築の大きな力を感じました。

建築を仕事にする社会人になった私が設計に臨むに当たって最初に考えるのは「まちや人と共生し続けられる建築なのか？」です。

ここで「人」とは、建物を所有する建築主とその建物を利用するユーザーはもちろん、建物の周りに住んでいる地域住民やそのまちを訪れる訪問者までを含めます。ユーザーにとって使いやすく快適な設計を行うことも重要ですがそこに止まらず、建築によってまちの人々も喜べるか、地域にずっと愛されるものになれるか、その為に建築主や施工者とどう向き合うべきか、まで考える。まちに調和され人々にずっと愛され続ける「地域のレガシー」としての建築を創ることこそが設計者の役割であり使命だと思います。

東日本大震災から10年、あの時学生として感じた建築への想いを今後も大切にしながら建築を創っていきたいと思います。

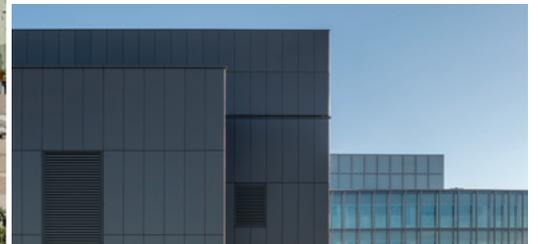
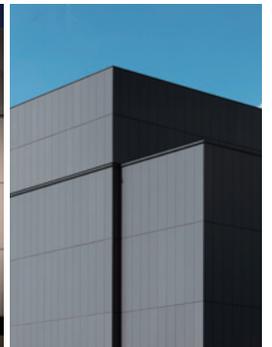
■すいせん者

牧野雅一
(株)大林組 設計本部
大阪建築設計第二部長



プライムアースEVエネルギー株式会社 (PEVE) 宮城第6・7工場 (宮城県)

東北が誇れる生産施設でありながら、まちのシンボルとして地域に向けてエネルギーを発散する。



Tsunashimaサステナブル・スマートタウンエネルギーセンター (神奈川県)

目立たないシンプルなデザインであるが、地域全体にエネルギーを供給し、まちを支え続ける。



イワタニ水素ステーション案 (和歌山県) 那珂瓦斯発電所 (茨城県)

燃料ステーションと発電所が持っている危険物関連施設のイメージから抜け出し、まちに親しまれる建築として存在する。